

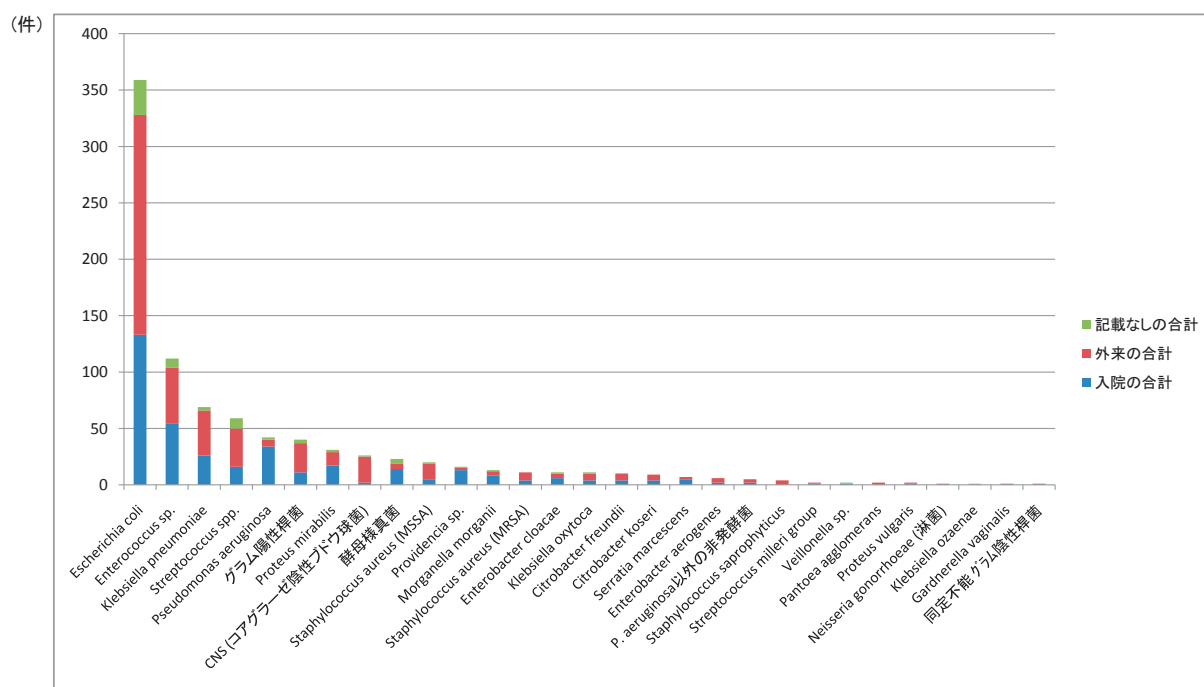
細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

診断・治療のお役に立てるよう当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せてご覧いただけたら幸いです。

今回は、尿からの細菌検出状況と、その中で3番目に多く検出されている *Klebsiella pneumoniae*（肺炎桿菌）の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【尿】細菌検出状況 2017年09月



尿路感染症は、基礎疾患のない単純性と基礎疾患が原因で起こる複雑性に大きく分類されます。

単純性尿路感染症は、急性に経過することが多く、成人女性に起こりやすい感染症で、複雑性尿路感染症は、一般的に慢性の経過をとりますが、時に急性の病態をとる場合もあります。高齢者では複雑性尿路感染症が多くみられます。単純性尿路感染症の起病菌は、*Escherichia coli* が約8割と多く、次いで *Klebsiella pneumoniae*、*Proteus mirabilis* などグラム陰性桿菌が続きます。複雑性尿路感染症は菌の種類が多く、グラム陰性桿菌は腸内細菌科や *Pseudomonas aeruginosa*、グラム陽性球菌は *Enterococcus* 属や *Staphylococcus* 属が分離されます。

【細菌薬剤感受性情報】

2017年9月分

アンチバイオグラム（Klebsiella pneumoniae）

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	90	3	7
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	92	0	8
	CMX	ベストコール	100	0	0
	CTX	セフトラックス	93	2	5
	CTRX	ロセフィン	94	0	6
	CAZ	モダシン	95	1	4
	CZOP	ファーストシン	96	0	4
	CFPM	マキシピーム	97	3	0
	CMZ	セフメタゾン	100	0	0
	FMOX	フルマリリン	100	0	0
	セフェム系経口薬	CPDX	パナン	92	2
CFPN		フロモックス	94	0	6
CDTR		マイアクト	93	1	6
CFTM		トミロン	100	0	0
カルバペネム系	IPM	チエナム	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	100	0	0
	ACV	オーグメンチン	92	5	3
	S/C	スルペラゾン	98	0	2
	T/P	ゾシン	100	0	0
アミノグリコシド系	AMK	アミカシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	97	0	3
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	100	0	0
その他抗菌薬	FOM	ホスミシン	29	59	12
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	97	1	2
	TFLX	オセックス	95	2	2
	GRNX	ジェエナック	96	3	1
	ST	パクタ	89	0	11

Klebsiella pneumoniae の薬剤感受性率は、自然耐性のため、ホスミシンの約7割が耐性ですが、それ以外の薬剤には約90%以上の感受性率です。

Klebsiella pneumoniae は呼吸器や尿路感染症の原因となり、ESBL 産生菌の場合、院内感染の原因菌として重要です。近年では、カルバペネム系薬への耐性株も報告されており、注意が必要です。

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>